

東議員（民主県政会）

令和3年2月26日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）安芸高校、呉昭和高校の在校生へのメッセージについて

今回の廃校決定までの過程は、県民の理解や納得を得られない進め方であったと考える。教育長として、在校生へのメッセージを出してほしい。

（答）

この度の安芸高等学校、呉昭和高等学校の生徒募集の停止につきましては、現在在籍している生徒の皆さんに対して、大変辛い思いをさせる結果となりました。

また、両校への入学を目指し、努力を重ねてきた中学校3年生の皆さんには、大きな不安を与えたことと思います。

これらのことにつきまして、県教育委員会教育長として、大変申し訳なく思っています。

この度、両校の生徒募集を停止するという苦渋の決断をしたところでございますが、高等学校の3年間は、人生の中で、とても大切な時間であると思っています。

両校に在籍している生徒の皆さん、そして、この春に入学する生徒の皆さんにとって、高校生活の1日1日が、充実して、楽しいものとなり、多くの思い出がつかれるよう、そして、生徒の皆さんが希望する進路が実現できるよう、両校の教職員と教育委員会が一体となって全力で取り組んでまいります。